



阪神・淡路大震災 30 年

「♪しあわせ運べるように」を 歌い継ぐ

スペシャルコンサート

♪地震にも負けない強い心をもって 傷ついた 神戸 をもとの姿に戻そう

1995 年 1 月 17 日、阪神・淡路大震災。子どもたちの歌声で傷ついた神戸をよみがえらせた。小学校の音楽教師・白井真さんが作った復興を願う歌「しあわせ運べるように」。神戸の子どもたちによって歌い継がれ、震災の記憶と教訓を未来に伝え続けています。

その後も国内外を襲う自然災害、歌は被災地を勇気づける希望の歌として山古志、中国・四川へと届けられました。そして 2011 年の東日本大震災。白井先生は歌詞の「神戸」を「ふるさと」に変え、自ら東北を訪れ子どもたちに歌の心を伝えました。福島には「福島しあわせ運べるように合唱団」が誕生、毎年のように、神戸を訪れ交流を続けています。

来年 1 月、震災 30 年という節目に「しあわせ運べるように」を歌い継いできた
神戸の子どもたち、大人たちが集い、ともに歌う
“スペシャルコンサート”を白井先生と一緒に企画いたしました。

2025 年 1 月 26 日（日） 14 時 30 分～16 時 30 分
会場：神戸新聞 松方ホール

参加ご希望の方は以下のチケットサイト「GETTIIS」からお申込みください

<https://www.gettiis.jp/event/detail/101440/6ysae8t3>



♪亡くなった方々の分も 毎日を大切に生きていこう

30年、それはちょうど一つの世代が入れ替わる年数でもあります。あの日、避難所になった小学校の校庭で初めて歌った子どもたちも40歳を過ぎ、そのお子さんたちが今、学校で歌っています。30年という歳月を超えて、様々な世代が集い、ともに歌うことは、“毎日を大切に生きていこう”という歌に込められた思いをみんなで確かめることでもあります。

コンサートでは「しあわせ運べるように」をはじめとする臼井先生の歌の数々、全国各地の被災地を勇気づけた歌を神戸、福島、山古志の子どもたちが届けます。最後は小学校の音楽会を思い出していただきながら「しあわせ運べるように」、そして「みえない翼」を臼井先生の指揮で会場も一緒に全員で合唱します。みんなで歌った後は、神戸ルミナリエ会場へ足を運んでください。あなたの大切な人とともに。

「しあわせ運べるように」をともに歌い、ルミナリエで過ごす大切な一日を

<開催日時> 2025年1月26日(日) 14時30分～16時30分

ロビー開場：13時30分

ホール開場：14時00分

※13時30分のロビー開場後、ホワイエで阪神・淡路大震災30年のパネル展示がご覧いただけます

<開催場所> 神戸新聞松方ホール(神戸市中央区東川崎町1丁目5-7)

<入場料> 無料

<出演予定> 臼井真(「しあわせ運べるように」作者 親和大学准教授)
「しあわせ運べるように」を歌い継いできた神戸のみなさん
森祐理(福音歌手)
神戸市立桂木小学校 HAPPY 合唱団
福島しあわせ運べるように合唱団
長岡市立山古志小中学校(オンライン参加) ほか

<主催> 神戸新聞社

<参加方法> 参加ご希望の方は以下のチケットサイト「GETTIIS」からお申込みください。

<https://www.gettiis.jp/event/detail/101440/6ysae8t3>

<締め切り> 定員に達し次第、締め切らせていただきます

<問い合わせ> 神戸新聞社 事務局 078-362-7086(平日10～17時)

以上